

2026 年度

国府台女子学院 中学部

第 2 回入試

算 数 (50 分)

【 注 意 】

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
3. 印刷が不鮮明でわからない場合や、その他わからないことがあった場合には、
だまって手をあげ、先生にたずねてください。
4. 答えは、すべて別紙解答用紙に記入してください。
5. 円周率は 3.14 とします。
6. 仮分数は、すべて帯分数になおして解答してください。

1 次の にあてはまる数を答えなさい。

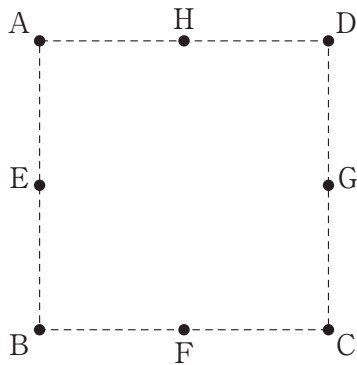
$$(1) 50 - [2 \times \{9 \times (6 - 3) + 2\} - 3 \times 4] = \text{}$$

$$(2) 5\frac{3}{5} - \left\{0.7 + \frac{1}{4} \times (1 - 0.4)\right\} \div 3\frac{2}{5} = \text{}$$

$$(3) 3.8 \times 1\frac{3}{7} - \left(\text{} - \frac{1}{2}\right) \div \frac{5}{7} = 4\frac{3}{5}$$

2 次の にあてはまる数を答えなさい。

- (1) 現在、父は32才、子は5才です。父の年れいが子の年れいの4倍になるのは、今から 年後です。
- (2) 整数1から50までをかけた $1 \times 2 \times 3 \times \dots \times 49 \times 50$ を計算した数は、一の位から0が 個続きます。
- (3) 川の下流の地点Aから30kmはなれた上流の地点Bまで、上りは3時間20分、下りは2時間で進む船があります。このとき、川の流れの速さは時速 km です。(ただし、静水時の船の速さは一定とします)
- (4) 40人の学級で、国語の好きな人が18人、算数の好きな人が27人、どちらも好きでない人が6人います。このとき、算数だけが好きな人は 人になります。
- (5) 5%の食塩水があります。これに3%の食塩水400gを加えて混ぜてから、水を60g蒸発させたら、4%の食塩水になりました。5%の食塩水は g あります。
- (6) 1辺の長さが2cmである正方形ABCDにおいて、それぞれの辺のまん中の点を図のようにE, F, G, Hとします。A ~ Hの8個の点のうち3個の点を頂点とする三角形をつくる時、面積が 1cm^2 である三角形は 個できます。



3 次の問いに答えなさい。

- (1) 1から7までの数字がかかれた7枚のカードが入っている袋があります。この袋の中から、カードを1枚ずつ続けて2枚取り出します。1枚目のカードにかかれた数字を十の位、2枚目のカードにかかれた数字を一の位とする2けたの整数をつくる。ただし、1枚目に取り出したカードは袋の中に戻さないものとする。

このとき、次の文章の ア ～ オ にあてはまる数を答えなさい。

できあがる2けたの整数は全部で ア 個あり、この中で偶数は イ 個あります。また30以下の整数は ウ 個できますから、30より大きい整数は エ 個となります。さらに、できあがった整数を小さいものから順に並べると、45は オ 番目となります。

- (2) 5, 12, 19, 26, 33, 40, 47, ……

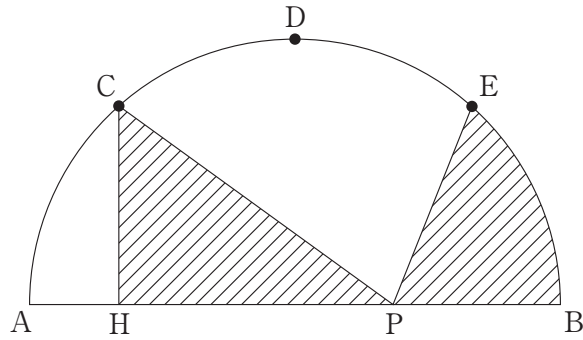
のように、あるきまりにしたがって数が並んでいます。

このとき、次の文章の カ ～ コ にあてはまる数を答えなさい。

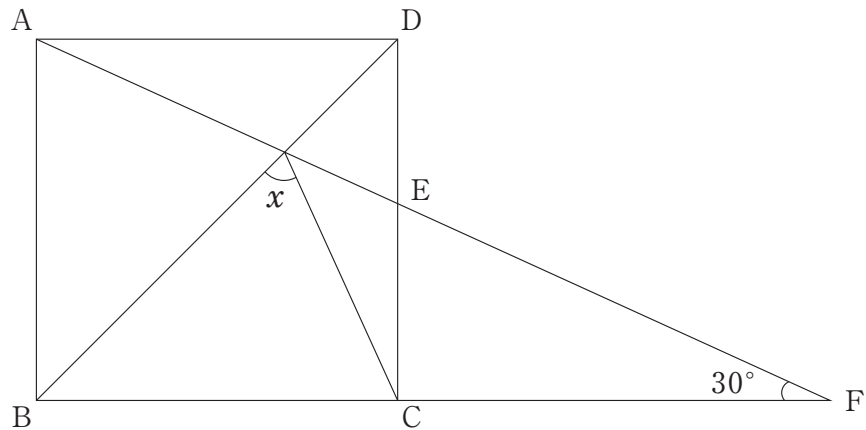
1番目の数5からはじまって、カ ずつ増えていくので45番目の数は キ となり、数222は、ク 番目とわかります。また1番目の数5から30番目の数ケ までの和は、コ とわかります。

4 次の にあてはまる数を答えなさい。

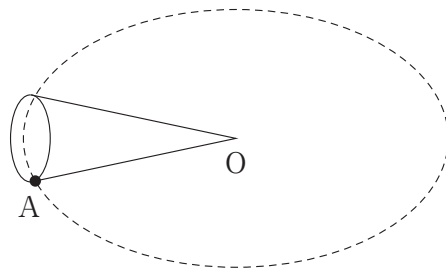
- (1) 図のように、ABを直径とする半径4cmの半円の円周を4等分する点C, D, Eをとります。CHとABは垂直に交わり、PはHB上の点です。図の斜線部分の面積は、 cm^2 になります。



- (2) 四角形 ABCD が正方形であるとき、図の x の角度は 度になります。ただし、図の点 F は、BC と AE をそれぞれ延長した線の交点です。



- (3) 底面の半径が2cm、母線の長さが7cmの円すいがあります。図のようにこの円すいを、頂点Oが地面につくように平面上に置きます。頂点Oの位置を動かさず、すべらないように円すいを転がしたところ、円すいはもとの位置に戻りました。このとき、円すいは 回転します。

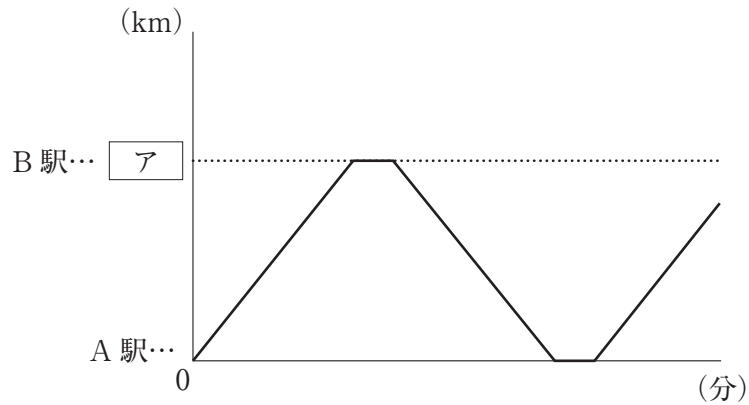


5 A 駅と B 駅を往復するバスの路線があり、1 台のバスで運行されている。

バスは毎分 500m の速さで走り、A 駅と B 駅に到着するとそれぞれ 7 分間ずつ停車する。

また、A 駅をはじめに出発する時刻は 7 時 30 分であり、A 駅を出発してから A 駅に戻るまでに 63 分かかる。

次の (1)～(4) に答えなさい。



(1) バスが 2 回目に A 駅を出発するのは 8 時何分ですか。

(2) にあてはまる値を求めなさい。

(3) この路線に 1 本のみ急行バスが別に運行している。急行バスが 8 時 21 分に A 駅を出発し、毎分 700m の速さで B 駅まで走った。バスが急行バスとすれ違うのは A 駅から何 km の地点になりますか。

(4) バスは 20 時以降に、A 駅に到着した時点でその日の運行は終了する。バスが最後に A 駅に到着するのは 20 時何分ですか。

2026 年度 国府台女子学院 中学部 第 2 回入試 算数 解答用紙

1

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

2

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

3

(1)	ア	イ	ウ	エ	オ
(2)	カ	キ	ク	ケ	コ

4

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

5

(1) 8 時	分	(2)	(3)	km	(4) 20 時	分
---------	---	-----	-----	----	----------	---

↓ここにシールを貼ってください↓



20262032014

--